

MURATA Tanryo (むらた たんりょう)

邨田丹陵

生誕150周年 記念 特別展

令和4(2022)年4.26 火 - 5.8 日

 たましん
RISURU ホール
立川市市民会館 展示室

主催：公益財団法人立川市地域文化振興財団

後援：立川市

企画協力：公益財団法人たましん地域文化財団

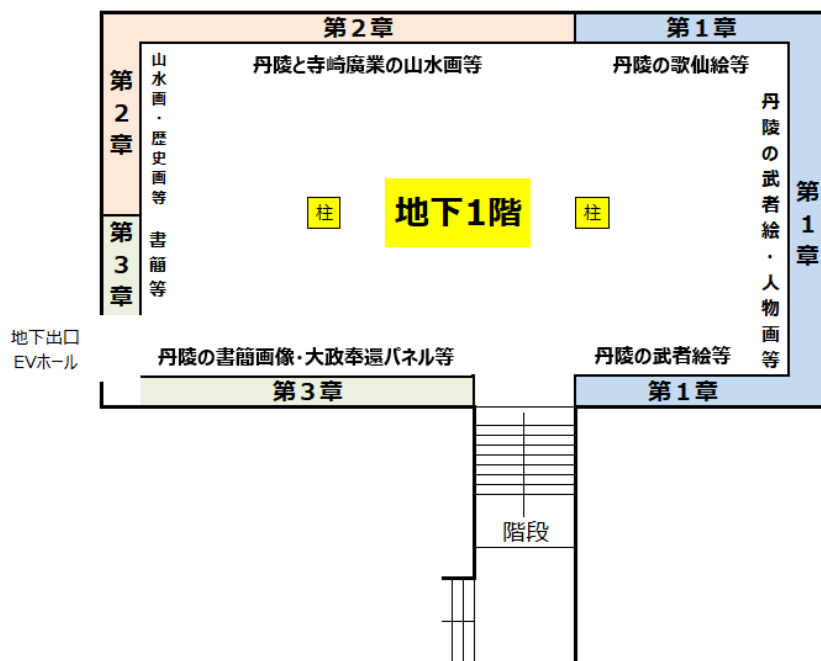
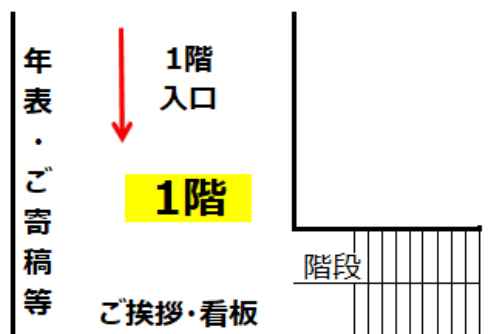
協力：東京キララ社 画像提供：福井県立美術館

出品作品リスト | List of Works

- ・本リストの掲載順と作品展示順は必ずしも一致しません。
- ・展示室内の温度・湿度、照明は、作品保護に関する所蔵者の貸出条件に従い管理しております。
- ・ご来場の皆様にとって理想的と感じられない場合もあるかと存じますが、ご容赦ください。
- ・作品保護の観点から写真撮影や手を触れることは禁止いたします。
- ・橋本雅邦《日出国 絵葉書》は、縦9.0×横14.0cmとなります（作品リストの※1をご参照ください）。
- ・《大政奉還》はパネル展示、《邨田丹陵書簡 転居通知 岩野平三郎和紙関係資料》は画像を元に展示をしております。双方のサイズは、《大政奉還 下図》と《転居通知》の実寸を、書籍「徳川おてんば姫」は書籍の実寸を記しています（作品リスト ※2～※4をご参照ください）。
- ・新型コロナウイルス感染症対策については、当会館の管理方針を準拠くださいますようお願い申し上げます。



邨田丹陵《六歌仙》（作品番号14番）部分 個人蔵



第 1 章

精緻に描かれた丹陵の人物画の世界

番号	作者名	作品名	制作年	サイズ（縦×横）	所蔵
1	邨田丹陵	犬追物図	不詳	91.0×44.0 cm	個人蔵
2	邨田丹陵	琵琶平安人物図	不詳	91.0×41.0 cm	個人蔵
3	邨田丹陵	豊公之図	明治 36（1903） 年	121.0×49.5 cm	個人蔵
4	邨田丹陵	菅公図	不詳	120.0×47.0 cm	個人蔵
5	邨田丹陵	桜井の別れ図	不詳	115.0×41.0 cm	個人蔵
6	邨田丹陵	楠木正成父子図	不詳	115.0×41.0 cm（各）	個人蔵
7	邨田丹陵	主将（武者絵）	不詳	130.2×50.3 cm	個人蔵
8	邨田丹陵	雲上鍾馗図	明治 34（1901） 年	114.0×40.0 cm	個人蔵
9	邨田丹陵	高砂	不詳	123.0×41.5 cm	個人蔵
10	邨田丹陵	木村長門守奮戦図（戦陣図）	不詳	127.6×48.4 cm	個人蔵
11	邨田丹陵	千代のかさし（かざし）	不詳	127.0×51.0 cm	個人蔵
12	邨田丹陵	雪月花	明治 39（1906） 年	125.0×50.5 cm	個人蔵
13	邨田丹陵	平安美人	不詳	111.0×41.3 cm	個人蔵
14	邨田丹陵	六歌仙	不詳	115.5×49.5 cm	個人蔵
15	邨田丹陵	六歌仙	不詳	109.0×41.0 cm	個人蔵
16	邨田丹陵	藤原俊成女図	不詳	108.5×40.5 cm	個人蔵
17	邨田丹陵	雛	大正 3（1914） 年	85.5×39.0 cm	個人蔵

第 2 章

丹陵の山水画と義兄・寺崎廣業の作品を中心に

番号	作者名（制作者）	作品名	制作年	サイズ（縦×横）	所蔵
18	邨田丹陵	富士と松	不詳	128.0×40.0 cm	個人蔵
19	邨田丹陵	春暁和色	不詳	105.5×42.5 cm	個人蔵
20	邨田丹陵	海上月 近代蒸気船図	不詳	94.5×35.0 cm	個人蔵
21	寺崎廣業	月下舟上笛吹図	不詳	127.5×41.7 cm	個人蔵
22	寺崎廣業	暁精暮魂之図－櫻花楓葉（櫻紅葉）	不詳	121.8×41.2 cm（各）	個人蔵
23	邨田丹陵	祥風瑞色	不詳	137.0×50.5 cm	個人蔵
24	寺崎廣業	山水風景図（溪山訪友）	不詳	125.5×50.5 cm	個人蔵
25	邨田丹陵	寒山拾得図	不詳	112.5×41.2 cm	個人蔵
26	寺崎廣業	人物画	不詳	111.0×41.5 cm	個人蔵
27	邨田丹陵	山水櫻待図	不詳	93.5×35.5 cm	個人蔵
28	邨田丹陵	朝晴雪	大正 8（1919） 年頃	128.0×32.0 cm	個人蔵
29	邨田丹陵・寺崎廣業 （満州軍制作）	二龍寶臺（宝台）	明治 38（1905） 年	24.5×32.1 cm（各）	個人蔵
30	橋本雅邦・寺崎廣業・邨田丹陵 （東京 便利堂制作）	日出国 絵葉書	明治 39（1906） 年頃	14.0×9.0 cm（各）※1	個人蔵

第 3 章

砂川村に転居した丹陵と「大政奉還」の制作

番号	作者名（発行者）	作品名	制作・発行年等	サイズ（縦×横）	所蔵
31	邨田丹陵書簡	三浦七右衛門宛て書状	不詳	23.0×15.5 cm	個人蔵
32	邨田丹陵書簡	転居通知 岩野平三郎和紙関係資料	昭和 3（1928） 年	14.0×9.0 cm ※2	福井県立美術館蔵
33	邨田丹陵寄稿（塔影社） 斎田元次郎編	塔影 第 11 巻第 11 号	昭和 10（1935） 年	30.5×22.5 cm	個人蔵
34	邨田丹陵	大政奉還	昭和 10（1935） 年	75.7×65.5cm ※3	聖徳記念絵画館蔵
35	井手久美子著 （東京キララ社刊）	徳川おてんば姫（94～99 頁）	平成 30（2018） 年	18.0×12.0 cm ※4	個人蔵
36	添田達麗寄稿（塔影社） 斎田元次郎編	塔影 第 16 巻第 2 号	昭和 15（1940） 年	30.5×22.5 cm	個人蔵

邨田丹陵は、明治5（1872）年、旧田安家藩士で故実家の村田直景の子として東京に生まれました。はじめ吉沢素山に南北合派を学び、のち川辺御楯のもとで土佐派を学びました。寺崎廣業（てらさき こうぎょう）や小堀納音（こぼり ともと）らと日本青年絵画協会（のちの日本絵画協会）を結成し、審査員としても活躍。同協会展やパリ万国博、日本美術協会展などで多くの受賞を重ねるほか、日本美術院の創立にあたっては特別賛助員として加わっています。昭和15（1940）年、北多摩郡砂川村（現在の立川市砂川町）にて亡くなりました。（享年69歳）